

# 夏目

才5号  
一九七九、四、一〇  
伊勢市イボ市町  
百万石編集部

春場所の朝汐(長岡)の負け越しは、ファンにとっては残念なことであったでしょうが、相撲協会としては、ほんとした面もあったのではなからうか。このまま朝汐に勝ち進まれたら、プロとしての相撲協会の真価が問われることになりかねないですからね。

三重支部の新人たちも今度の観点の土俵で、ことごとく跳ねとばされたようで、古参力士の一人である私と致しましては「JRPもそう甘くはないをよしとニヤニヤと胸なぞおろしているところがあります。

——北村、樋口といった力士が土俵に残っていますか、ふたりとも新人とは言いかたい。プロ野球の移籍選手のようなもので、ベテラン選手である——。

でも新人の捲き返しは早い。東場所には続々入幕して来るでしょう。是非そうやってほしい。か、そうなるというも昔尻近くを、うろうろしている私にとつては、いつ引きずり落とされるかという不安が一杯。いやそう簡単には幕をあげ渡してはなるものか。そのためには古参力士といえども稽古量が大切、五回展に向って、今夏はとにかく早くエンジンを始動させようと思っっている。

才一回より連続入賞は勿論東さん一人。連続入賞は三回展まで五〇名足らず。才四回展予定通り九名入るとして三重支部の連続入選東さん含めて四名。(記録魔より)

ひとり記録を更新する苦しさ、楽しさ「ん、うふふ。仲間(競走相手か)いる方がいい、一樹さん仁さんにも頑張って貰わねば。

東場所すぐ復帰する人も新しく入る人も四回連続の記録なんてすぐ破られる。



「キビシイッロ」

大関 脇結頭	東湖	山樹	新美
小前	錦山	樋口	里井
〃	北村	竹川	若尾
〃	〃	墨尾	里生
〃	〃	川部	清水
〃	〃	龍の字	服部
幕下	山	山	篤
以下	畧		

||| ご投稿をお待ちします |||

百万石の才4号が出走して、封筒に入れ住所を貼り切手を貼り、いざポストへと思った時、純雄川より原稿到着。早速印刷して、封筒の尻を開けて再封しました。百万石はほとんど白紙のまま(原稿だけでなく)手紙やら葉書やら、或は電話のおしゃべりに至るまで載せて行きます。

と云って手紙でもでんわでも掲載を募集するのは言ふな、それは守りますから、ご安心を。それよりなにより、ご高付を続けてお願いたいです。切手代だけ添えていたら昨日コピー屋さんから、現像液代とコピー紙代の請求が来た。四、六二〇円。〇76で現像できたならなあ。